

令和3年度当初予算見積要求額の概要

令和3年1月15日
財 政 課

1. 一般会計見積要求額

(1) 歳入予算見積額 6,415億円 (2) 5,705億円・比較 +710億円 +12.4%)
 ↳ 令2は当初予算額 (以下同様)

(単位：億円)

歳入項目	令3	令2	増減額	増減率
県税	1,617	1,725	▲ 108	▲ 6.3%
地方消費税清算金	616	598	18	2.9%
地方交付税 (臨時財政対策債含む)	* 1,579	1,402	177	12.6%
地方譲与税	169	243	▲ 74	▲ 30.4%
地方特例交付金	13	11	2	21.1%
国庫支出金	928	675	253	37.6%
繰入金	62	113	▲ 51	▲ 45.5%
県債 (臨時財政対策債除く)	446	559	▲ 113	▲ 20.1%
その他	985	379	606	159.9%
合 計	6,415	5,705	710	12.4%

(注) 端数四捨五入により、合計があわない場合があります。

* 地方交付税 (臨時財政対策債含む) については、今後、国から示される情報等に基づき精査を行うため、大きく変動する場合があります。

○一般財源総額 3,378億円 (2) 3,381億円・比較 ▲3億円 ▲0.1%)
 (県税、地方譲与税、地方特例交付金、地方交付税および臨時財政対策債)

(2) 歳出予算見積要求額 6,682億円 (2) 5,705億円・比較 +977億円 +17.1%)

(単位：億円)

歳出項目	令3	令2	増減額	増減率
人件費	1,727	1,684	43	2.5%
扶助費	649	621	28	4.5%
公債費	782	765	17	2.2%
投資的経費	834	956	▲ 122	▲ 12.7%
その他	2,690	1,679	1,011	60.2%
合 計	6,682	5,705	977	17.1%
通常分	5,661	5,705	▲ 44	▲ 0.8%
新型コロナウイルス対策分	1,021	-	1,021	皆増

(注) 端数四捨五入により、合計があわない場合があります。

【見積要求額の組織別内訳 別表 1のとおり】

※歳入・歳出収支差額 267億円

今後、予算編成過程において、歳出精査を行うとともに、財源調整的な基金の取り崩しや県債の発行などにより、収支均衡を図ります。

2. 特別会計（10 会計）見積要求額 2,336 億円（2 2,400 億円・比較 ▲64 億円 ▲2.7%）

【見積要求額の会計別内訳 別表 2のとおり】

3. 企業会計（5 会計）見積要求額

（1）収益的支出見積要求額 1,028 億円（2 943 億円・比較 +85 億円 + 9.0%）

（2）資本的支出見積要求額 297 億円（2 242 億円・比較 +55 億円 +22.4%）

【見積要求額の会計別内訳 別表 3のとおり】